

鴨川市地域公共交通会議 令和6年度第2回会議

会議録

日時：令和6年10月29日(火)午後2時から

場所：鴨川市役所 4階 大会議室

1 会長及び委員

役職等	所属・職	氏名	備考
会長	鴨川市 副市長	平川 潔	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局 局長	羽田 幸弘	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人	
	千葉県鴨川警察署 交通課 課長	竹内 久泰	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	鶴谷 武志	
	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	伊藤 昌央	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅 駅長	石井 孝典	
	利用者代表	平野 元美	
	利用者代表	三橋 悦子	
	利用者代表	篠田 千津子	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏名	備考
	日東交通株式会社 運輸部 部長	高橋 晴樹	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	小湊鐵道株式会社 バス部 部長	深山 宏樹	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通労働組合 安房支部 支部長（鴨川担当）	渡邊 剛太郎	
	鴨川市校長会 会長	関口 和則	

2 オブザーバー

所属・職	氏名	備考
千葉トヨタ自動車株式会社 営業支援部 営業推進課 副課長	平野 照明	
千葉トヨタ自動車株式会社 営業支援部 営業推進課 担当次長	阪田 雄吾	

3 事務局

所属・職	氏名	備考
鴨川市企画総務部 部長	野村 敏弘	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長	滝口 俊孝	
鴨川市企画総務部企画政策課 課長補佐	田中 仁之	
鴨川市企画総務部企画政策課 住み続けたいまちづくり係	白山 直樹	

[配布資料]

- ・ 席次表、出席者名簿、委員名簿
- ・ 資料 1 鴨川市公共交通の令和 5 年度実績について
- ・ 資料 2 鴨川市地域公共交通計画の評価等結果
- ・ 資料 3 共通乗降場所一覧
- ・ 資料 4 令和 7 年度「チョイソコかもがわ」について（案）
- ・ 参考資料 1 『チョイソコかもがわ』利用実績
- ・ 参考資料 2 運行評価指標
- ・ 参考資料 3 チョイソコかもがわアンケート結果
- ・ 参考資料 4 特定非営利活動法人峰上交通 運送の概況
- ・ 参考資料 5 令和 6 年度 会議開催スケジュール等（案）

■議事要旨

1 開会（午後 2 時） 司会 企画総務部企画政策課 滝口課長

- ・ 配布資料の確認
- ・ 会議の成立
- ・ 公開の報告

2 会長あいさつ

（要旨）

本日はご出席をいただき、また、本会議の委員を引き受けていただき、重ねて感謝を申し上げます。本会議では、重要な地域公共交通施策に関する事項について、協議を行っている。

本日の会議では、鴨川市の公共交通の令和 5 年度の運行実績の報告 1 件、本市の公共交通計画の令和 5 年度評価や、チョイソコかもがわの本格運行に係る協議などの 3 件をお願いしたい。皆様には、忌憚のないご意見をいただくようお願いする。

3 議事 議長 平川会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、鶴谷武志 委員を指名

報告案件1 鴨川市公共交通の令和5年度運行実績について
(事務局から、資料1に即して説明)

羽田副会長：実績値報告があったが、全体的には人口減が進んでいる中、実績値が全体的に伸びている。事業者の努力、市の調整機能が反映されていると思うが、この先も伸びが期待できるか。

事務局：計画策定時の現状値が令和2年度の実績ということでスタートがコロナ禍だったということで徐々に伸びている状況。市の方でも公共交通機関の啓発などいろいろと周知させていただいている。また増加傾向になるようにいろいろと工夫をさせていただければと思う。

協議案件1 鴨川市地域公共交通計画の令和5年度評価について
(事務局から、資料2に即して説明)

高橋委員：1点ずつ質問する。「地域公共交通の利用圏域の拡大」の中の評価・次年度に向けた課題で、「大学線については、城西国際大学跡地活用の検討結果により運行の可能性がある。」とあるが、検討というのは既にされているのかどうか

平川会長：城西国際大学は、令和4年度から使われていない状況。現在に至るまでその跡地活用ということで事業者の募集等々を進めてきた。一旦11の事業者から応募があったが残念ながら活用にはいたらなかった。現在新たに1事業者から利用したいというような申し出があり、検討している状況。これが叶えば新たな活用ということになると思う。

高橋委員：続いて質問する。地域公共交通市民満足度の向上の公共マップの策定やITCの検討状況はいかがか

事務局：鴨川市内の公共交通については、再編が続いている状況。再編が固まり次第、作成を検討する。

高橋委員：モビリティマネジメント実施回数について、目標2回のうちの達成状況の1回は市広報誌に掲載している。もう1回は実施するために例えば地域などの共同利用の利用促進についての施策があるか。

事務局：実証運行期間中で記載はしていないが、「チョイソコかもがわ」について、運行事業者である千葉トヨタ自動車とともに周知を図っている。こういった公共交通もあるということで広めていくことができていると思っている。

資料のとおり承認

協議案件2 チョイソコかもがわ共通乗降場所の追加について

(事務局から、資料3に即して説明。また、協議が整った場合には証明書を発行する旨を説明。)

伊藤委員：共通乗降場所について、初めに設定するときどういう考え方で設定されて、追加するにあたってはどういう考え方で追加するのか。また、利用が少ない場合には場所を削除するかどうか。

事務局：最初の設定場所は主に医療関係施設や公共施設を設定した。3地域運行の前の長狭地域で実施運行をしている際に市民からの要望で共通乗降場所を追加した。一度追加した場所は廃止にしない方向で基本的には進めていく。これ以降の共通乗降場所については、千葉トヨタ自動車、社会福祉協議会、市などで相談する機会を作り、話し合うこととする。

高橋委員：共通乗降場所の追加について、関係者や運輸支局輸送担当に事前協議をしているか。

事務局：各施設敷地内で乗降ができる場所というような前提で調整をしている。千葉トヨタ自動車を通じて各施設の持ち主、管理者の方にご了解をいただいたという経緯で今回追加している。

高橋委員：千葉運輸支局輸送担当に事前協議をしているか。

事務局：事前にはしていない。(補注. 実際には事前協議を行っており、後日、委員から事務局に事前に実施している旨連絡があった。)

羽田副会長：利用者の要望やニーズを反映しながら共通乗降場所は徐々に増えていると認識している。今後の追加に関しても、運行しながら意見を頂戴し考えていくイメージで合っているか。

事務局：当初は公共施設、医療施設、商業施設の必要最小限度でスタートをした。その後、利用者の声に応じて徐々に追加をし、長狭地域については多くの乗降場所があり、江見地域と天津小湊地域ははじめての追加となる。これからは際限なく拡大していくのは現実的に難しく、千葉トヨタ自動車、社会福祉協議会などと相談をしながら一定のルールを設け、共通乗降場所の追加についてを協議していく。

資料のとおり承認し協議が整っていることの証明書を発行

協議案件3 チョイソコかもがわ運行計画(原案)について

(事務局から、資料4に即して説明)

伊藤委員：運行日を増やす理由を確認したい。

事務局：チョイソコかもがわは、令和3年から長狭地域のみで週5日で運行していた経緯がある。今年度、江見地域、天津小湊地域も運行するにあたり、それぞれの地域で、現在、週3日で運行している。アンケート結果や説明会などにより、日数に関して多く意見をいただいていることから今回の形で提案している。

伊藤委員：運行の曜日についての要望はあるか。

事務局：昨年までの利用実績や、市内を走っている移動販売などを考慮し、今現在の形となっている。

伊藤委員：乗り合い率についてはいかがか。

事務局：一便当たりの乗り合い率は1.45人となっている。

篠田委員：アンケート結果にある日数については、長狭地域の方が多く、自分の近所にも高齢者の方はたくさんいる。自分も免許を返納していて、チョイソコだけではなく、路線バスにも多くの補助金が使われて、お年寄りや、体の不自由な方などがお世話になっていることに大変感謝する。

高橋委員：江見地域の朝夕運行について確認したい。

事務局：年度初めは、通勤者が1名利用していたが、今は自分で運転している。現在利用者が0名のため、今年度限りで廃止としたい。

三橋委員：自分の住んでいる地域は、鴨川市内線、木更津鴨川線、コミュニティバスが使える、恵まれていると思う。自分も免許を返納している。チョイソコの週4日を上手に使ってみんなで協力して利用できたらいいと思う。

平野委員：自分はJR安房小湊駅や路線バスも乗れる距離にあるが、バス停まで歩くのも大変な方もいる。チョイソコが走り出してからよく見かけるようになった。過疎化が進む中、全ての要望を叶えるのは難しいと思うが、最終利用時間を延ばすことはいかがか。

(平野氏) 平野氏：現状の8時から16時よりも運行時間を前にも後ろにも延ばすと交代のドライバーが必要かつ、運行委託費や雇用のところではすぐにはできないというところがある。ご意見はしっかり受け止めて、今後、より良いチョイソコを目指してやっていきたいと思う。

羽田副会長：3点質問する。1つ目は長狭地域について、三地域の中では、一番利用が多く、江見地域と一緒にすることで予約がとりづらくなる可能性はどうか。

2点目は、通勤通学利用について、江見地域は現時点で0人であるが、今後の利用者を考え残すことはできるか。

3点目チョイソコとよふさについて、実証運行で終了すると聞いているが情報はるか。また、車両をシェアすることは可能か。

事務局：1点目は、今回、1日分増やしたことで、予約の取りづらさは月曜まで選択肢が広がることで若干緩和されると思い対応させていただいた。

2点目は、江見地域の曾呂地区では、令和6年3月までコミュニティバスが走っていた経緯がある。通勤通学に支障がでると困ることもあると見越して実証運行の中で加えたが、実績がゼロとなったため今回で廃止としたい。なお、曾呂地区では小中学生にはスクールバスが走っている。同様に、天津小湊地域の、清澄・四方木地区もコミュニティバスが走っていたが、スクールバスがないため、小中学生がチョイソコしか頼るものがなく、継続としたい。

3点目は令和6年9月に行われた、南房総・館山地域公共交通活性化協議会の会議報告によると利用者が伸び悩み、目標人数に達しなかったとなっている。運行事業者が違うため、車両の貸借は難しい。

資料のとおり承認

4 その他

高橋委員：千葉運輸支局では、運転手不足で深刻な問題となっている中、また、メディアに取り上げられない中、現場の声を聞いたドライバーの魅力についてプレスリリースをした。千葉運輸支局のホームページを見ていただきたいと思う。

事務局：2点報告する。1点目は、令和6年4月から大山公民館バス停で長狭線と乗り継ぎができるように、本市まで拡大して運行している富津市の「峰上タクシー」について、NPO法人峰上交通が交通空白地有償運行の初回登録から2年が経過し、登録更新手続きが行われ令和9年11月20日まで登録有効期限が延長されることになった。今後、3年間は、引き続き鴨川市内の長狭線大山公民館バス停に接続する。

2点目は、南房総市の「チョイソコまるやま」について、朝8時から9時半までの便を鴨川方面で運行する。南房総市丸山地区から鴨川市の長狭地域を通り、降車のみで、鴨川国保病院と亀田病院へ向かう便とするとのこと。運行日は12月2日から行われる予定。

事務局：第3回会議は1月の開催を考えている。改めて日程調整し、案内をする。

5 閉会（午後3時30分）

以上

令和6年12月9日

会議録署名人 鶴谷武志